



広報

No.252

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

平成4年12月末現在

世帯数	8,196戸
人口	26,845人
男	13,723人
女	13,122人
12月の人口移動	
出生 37件	死亡 12件
転入 76件	転出 65件
婚姻 24件	離婚 2件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



として保存すると便利です

盛り上がったトリムマラソン

「だれでも、どこでも、いつでも」気軽に参加できる第8回新春トリムマラソン大会が1月10日午前、西原小学校グラウンドをスタート・ゴールに行われ、約400人がさわやかな汗を流しました。

健康の保持・増進と体力づくりを図ろうと町民ら(2才から74才まで)が3歳と5歳に挑戦。中には車イスの参加もあり、会場は盛り上がりました。

なお、結果は次の通り。▷3歳第1位・万里崎英広、第2位・万里崎亜子、第3位・稲福清美▷5歳第1位・山城常義、第2位・前原輝雄、第3位・城間清勇(敬称略)

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

一九九二年は、我沖縄が米軍統治下から放たれ祖国へ復帰し二十周年、また中国との国交正常化二十周年であります。さらに「琉球文化」がクローズアップされ、まさに「琉球の風」が世界に向かって吹き始めた年であったように思う。

そのような歴史の節目に、かつて琉球と中国との間の五百年に及ぶ交流、交易の道、いわゆる「進貢使路」を沖縄の青年たちに踏査させ、ロマンの創造に燃える優れた人材育成をするという歴史体現イベントが「中国三千キロ踏査行」でした。

私は、現在、趣味で民謡研究所に通い三線を習っていますがその三線を通じ「琉球文化」に興味を持ち始め、さらにその源流となる中国文化に興味を持ち一度は中国へ行き本場の技を見てみたいと常々思っていました。そのような時にこの大イベント「中国三千キロ踏査行」に参加させてもらう自分がつくづく幸せ者だと感じた。

しかし、踏査行参加が決定

し、事前講義がはじまるとその考えも変わりはじめた。事前講義では、中国の文化や歴史、建築、琉球との係わり、日本との係わり、などあらゆる角度から内容の濃い講義がおこなわれたが、その中で「南京大虐殺」の講義を受け、今までの自分の中国に対する考え方、また、なんのために

の団員が洗礼(下痢)を受けることになった。当初から予想されていた事ではあったが少々つらいよい思い出となった。

「中国三千キロ踏査行」第一コースに参加し、二週間という時間の中で見た中国は自分が今まで描いていたイメージを越えた国であった。まさ

時代の大きな遺産である。中国での二週間という時間はまさにこのことを教えてくれた。現在、中国は改革開放をすすめ、停滞している経済の立て直しを目指しているが我国と中国との間には依然とGNPが四十対一(日本の一円は中国では四十円の価値になる)という大きな経済的な格差が

らの活動の糧にしなければならぬ。

またこの踏査行は「琉球芸能」のすばらしさをあらためて感じた旅でもありました。

今、琉球文化、芸能は全国でもクローズアップされ、まさに「琉球の風」が吹き初めている。この風は近い将来大きな一陣の風となってアジアへさらに世界へと旋風を巻き起こしていくでしょう。

私はこの踏査行の体験がその風を起こす一扇にでもなるよう頑張っていきたいと思う。最後に、この踏査行を企画実行した関係者の方、また参加の機会を与えてくれたみなさまに感謝したい。

「中国三千キロ踏査行」を終えて

—'92中国の暑い夏—

字我謝八百十一番地 新垣和則



「踏査行」に参加するの、

自分は日本人として何をすべきかを考えさせられ、これから始まる旅の重さを痛感した。

また、今回の「踏査行」は体力と精神力が要求されるハードな旅でもあった。私はその日に備え体力トレーニングを十分積み万全の体調で望んだが、ただひとつ胃腸のトレーニングをやっていたいなかったため踏査中私を含むほとんど

に「百聞は一見にしかず」であつた。行く先々での大歓迎

は時として我々を戸惑わせたが我々を迎える笑顔、人なつっこい性格に触れ、さながら旧知の友人にあつたように胸が熱くなり涙ぐむ団員もいた。「異国の地で、その地の文化を理解することから相互理解が生まれ、その文化の中に入っていくことで相互信頼が生まれた」先人が残した大交易

ある。ある中国人が

「あなた方は簡単に中国へ来ることができが、私達は日本へは行けない(経済的に)」と言った言葉が深く印象に残っている。

我々は両国の峽間にある諸々の現実をみつめ、過去の事実を正確に知りこれか



きれいな景色を前に朝の出発前のひととき……

37名の民生委員・児童委員が決定

悩みごとなど気軽にご相談を！

民生委員・児童委員の任期満了に伴い、この度、町から推薦された新たな委員三十七人が厚生大臣から委嘱されました。

民生委員・児童委員は、福祉行政の協力機関として位置づけられ、自主性・奉仕性・地域性の三原則に立つ、いわば民間の奉仕者であり、任期は三年です。

職務は、一定の地域を担当し、住民の生活状態の把握、要保護者の保護指導、施設との連絡、その他の福祉関係の業務に協力すること等があります。また、児童福祉法に基づく児童委員も兼ねています。お気軽に、各区担当委員へ

ご相談下さい。なお、委員は次の通り。
(敬称略)
※()は、各担当行政区です。



(幸地ハイツ区)
川満美津子
九四五―一八三八



(幸地区)
比嘉千代
九四五―七五六六



(棚原区)
宮城幸子
九四五―七五〇三



(幸地区)
翁長アヤ子
九四五―四二二〇



(呉屋区)
呉屋定子
九四五―一六二〇五



(翁長区)
森川世子
九四五―四二二二



(翁長区)
城間千代子
九四五―五四一五



(森川千原区)
島袋悦子
九四五―七五一五



(棚原区)
伊波精吉
九四五―四三二三



(西原台団地区)
津波古元義
九四五―〇八六二



(坂田区)
米城利子
九四五―四四五八



(翁長区)
金城春子
九四五―九二〇八



(上原区)
屋良朝進
九四五―四三三三



(徳佐田区)
平良ヨシ子
九四五―五五三五



(兼久区)
我謝豊子
九四六―七五三七



(平園区)
米須美代子
九四五―一八七三



(小那覇区)
外間都子
九四五―〇八〇六



(小那覇区)
玉那覇房子
九四五―四六〇六



(掛保久・津波渡区)
玉那覇光子
九四五―一七四七



(小橋川・内間区)
新川善一
九四五―九五四〇



(与那城区)
宮平春子
九四五―八四六一



(兼久区)
奥浜末子
九四五―八九九九



(平園区)
仲松民子
九四五―六七四四



(小那覇区)
外間惟正
九四五―四八二六



(嘉手苅区)
呉屋 實
九四六―三三八一



(県営内間団地区)
大城真光
九四六―二二六四



(県営西原団地区)
比嘉京子
九四六―四三九七



(小波津区)
伊佐川光子
九四五―〇三三四



(安室・桃原区)
金城貞昭
九四五―三三三八



(我謝区)
呉屋秀子
九四六―二八五八



(我謝区)
小橋川善弘
九四五―三三九二



(与那城区)
塩川初枝
九四五―二七〇七



(小波津団地区)
島袋ヨシ子
九四五―〇九六九



(池田区)
比屋根ヨシ
九四五―三七八五



(西原ハイツ区)
川平トミ子
九四五―七二一七



(我謝区)
小川貞子
九四五―一八〇四六



(美咲区)
宮平昌信
九四五―三五四三



国際交流のかけ橋に

研修生修了式並びに謝恩会

町海外移住者子弟研修生、新川ハイメルイスさん（ペルー国、32才）と糸数ナンシーさん（アルゼンチン国、18才）の二人が、六カ月の研修をこのほど終り、一月八日午後六時半から、西原共同福祉施設で修了式並びに関係者謝恩会が行われました。

出席者は、身元引受人（糸数良子さん、新川崔吉さん）や研修受入機関（ハートライフ病院、異文化間コミュニケーション）

ーションセンター）、町関係者ら約三十人。あいさつの中で平安恒政町長は「健康面が一番心配であったが、身元引受



修了式でりっぱなあいさつをした研修生
(左から 糸数ナンシーさん、平安町長、新川ハイメルイスさん)

「町政発展のために頑張りたい」



平安町長から小川良夫氏に辞命が手渡された

小川良夫氏が助役に再任

本町の助役に前助役の小川

良夫氏（字呉屋九十七番地・

人のご協力により無事に過ごした。二人が研修の成果を生かし自国で活躍することを祈念する」と励ましました。

また、前原淳子さん（ハートライフ病院担当医師）は、「眼科で研修した新川さんは患者に対して優しく親切な人。毎日の宿題や厳しい指導にもよく耐えた。ペルーでは

りっぱな医者になってほしい、上江洲由利子さん（異文化間コミュニケーションセンター所長代理）は「沖縄での経験を生かして二十一世紀に向けた日本とペルー・アルゼンチン国の国際交流のかけ橋になってほしい」とそれぞれ話していました。

これに対し研修生の新川さ

んは「六カ月の研修は人生の中でよい体験となり、忘れないうものになった。沖縄の人のあたたかい心に感謝します」、糸数さんは「沖縄は景色もきれいが、心はもつときれい。沖縄人の子孫に生まれたことを誇りに思う」と流ちょうな日本語でお礼のことばを述べました。

五十五才）が十二月二十日付で再任され、二十一日午前、役場会議室で辞令交付式が行われました。

交付式であいさつに立った平安町長は「町としては大きなプロジェクトを抱え、ますます町内外から注目される時期にある。小川助役には町政執行の補佐役として頑張ってもらいたい」と激励しました。

これに対し小川氏は「過去二期八年間、多くの方々の御助言と御理解をいただきながら誠心誠意尽した。今後も、これまでの経験を生かしつつ初心に戻り町政発展のために頑張りたい」と抱負を述べました。



委員に対し小川助役から委嘱状が交付された

西原町環境保全監視員の委

環境保全監視員制度がスタート

委員19人に対し委嘱状交付

嘱状交付式が十二月二十一日午後、議会委員会室で行われ委員十九人に対し小川助役から委嘱状が手渡されました。

監視員は、町における違反開発、違反建築、公害及び不法投棄を監視し、災害の防止と健康で文化的な生活環境と秩序ある発展を図るためのもので任期は二年。

なお、監視員は次の通り。

▽幸地区・幸地ハイツ区、外間栄徳▽棚原区、宮城秀功▽徳佐田区、佐久田朝祐▽森川区・千原区、島袋成喜▽上原区、石原昌徳▽翁長区、城間安雄▽坂田区、濱門稔▽呉屋区・津花波区、呉屋定三▽西原台団地区・小橋川区、津波古元義▽内間区・県営内間団地区・新川善一▽掛保久区・嘉手茹区、呉屋米子▽小那覇区、中山善正▽平園区・兼久区、玉那覇善栄▽与那城区・美咲区、泉川寛善▽我謝区、新垣正廣▽西原ハイツ区・安室区・桃園区、金城貞昭▽池田区、比屋根和憲▽小波津区、県営西原団地区、小波津政文▽小波津団地区・島袋文雄

(敬称略)

西のように羽ばたこう

恒例の平成五年町年始会が一月四日、午後四時から町中央公民館で開かれ、町民をはじめ町内外からの関係者約六百人が親睦と交流を深めにぎわいました。

年始会では、呉屋定子町商工会長の開会のあいさつに始まり、平安恒政町長と城間光

雄議長が年頭のあいさつ。また、與那嶺浩教育委員長の乾杯の音頭で会場がさらに盛り上りました。

あいさつの中で平安町長は町政の現状や課題に触れた後「西年の今年は、西のように羽ばたく町政を実現したい」と述べました。



町年始会のもよう

社会参加し 仲間をつくろう



クリスマスプレゼントを楽しみしながら、宮平会長のあいさつを聞いていた

町社会福祉協議

会(宮平吉太郎会

長)・町心身障害児

者を育てる会(呉

屋定子会長)共催

のクリスマスパー

ティーが十二月十

九日午後、社会福

祉センターで開か

れました。

ハンディーをも

った子どもたちを

激励しようと関係

者約一五〇人が出

席。西原団地ひま

わり子供会からも余興を披露しました。

宮平会長はあいさつの中で「積極的に社会参加し、仲間をたくさんつくってほしい」、呉屋会長は「今後ともはばたき共同作業所をみんなで盛り上げて」とそれぞれ述べました。

その後、平安町長や西原ライオンズクラブサントのおじさんからプレゼントをもらい子ども達は笑顔で喜びを表していました。

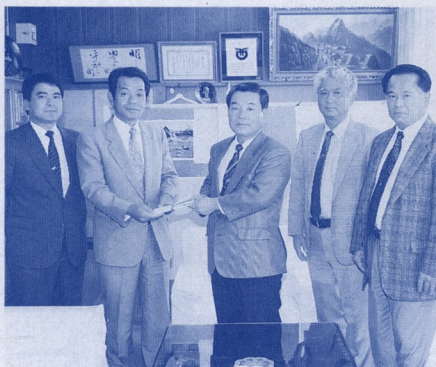


街路築造工事の安全を祈願

上原棚原線街路築造工事(第二工区)の安全祈願祭が12月10日午後、字棚原地内で関係者約50人が出席する中行われました。

この工事は、(株)金城キク開発(永山盛秀代表取締役)が請負い、請負額は約5千8百万円余。工事延長は177mで工期が平成5年3月25日までの予定。

これは、那覇広域都市計画事業上原棚原土地区画整理事業の一環で、工事が年次的に進められています。



派遣費50万円を援助

町人材育成会(平安恒政会長)は、12月19日午前、町長室で西原パッファローズ(大城幸哉監督)ほか関係者に対し派遣費助成金50万円を手渡しました。

これは、第54回沖縄県学童軟式野球大会(12月26日から28日までの3日間、石垣市にて開催)に中城支部代表として出場するためのもの。県内19ブロックから選抜された代表32チームが対戦する予定。



伸び伸びと新春かきぞめ

町文化協会書道部会(久高秀山部会長)主催、第2回西原町民新春かきぞめ大会が1月3日、町民体育館で行われました。

これは、古代より新年の願いを筆に託する伝統文化の継承が目的。午前の部は児童生徒や中学生を対象に、午後の部は高校生・成人が対象。書道部会員(先生方)が参加者約160人の作品一点一点に添削指導。参加者は新年の願いを込めて伸び伸びと筆を運んでいました。



24時間途切れなくプレー

第2回町24時間ソフトボール大会が平成4年12月31日正午から平成5年1月1日正午まで西原中学校グラウンドで行われ、参加者約100人が年末年始にさわやかな汗を流しました。

悪天候の中、ソフトボールを愛好する町民や地域団体、中学生らが白軍と紅軍に分かれてプレー。年越そばや牛汁も準備するなど、楽しい雰囲気の中で試合がすすめられました。

なお、結果は126点对109点(96イニング)で紅軍が勝ちました。



ん、とーじょうじやるむん、

西原町体育協会(城間期一会長)主催、第9回町ゲートボール大会が12月20日、西原東中学校グラウンドで行われ、参加者約180人が年の暮れさわやかな汗を流しました。

行政区単位にチームを編成し、22チームが熱戦を展開。予選は三者リーグ戦、決勝はトーナメントで戦いました。結果は次の通り。
▷優勝・平園Aチーム▷準優勝・我謝Aチーム▷第3位・上原チーム、兼久Aチーム



東部消防組合が出初式

東部消防組合(平安恒政管理者)の平成5年出初式が、1月7日午後2時から同組合本部構内で約200人が出席する中、行われました。

出初式では、消防職員と団員が正副管理者や団長、消防長らの特別点検を受けた後、引き続き前署長や永年勤続の職員や団員18人が表彰されました。

式辞の中で平安管理者は「消防防災意識を高め、災害のない明るい地域づくりを推進しよう」と述べました。



三善建設株が300万円寄付

「西原町の人材育成のために役立てて下さい」と、三善建設株式会社（小波津健社長）が12月14日午後、町長室で町人材育成会（平安恒政会長）に対し300万円を手渡しました。

あいさつの中で小波津勇副社長は「創立20周年を記念して寄付を考えた。会社がここまでこれたのは町のお陰です」と話しました。これに対し平安会長は「多額のご芳志に感謝します。有効に使いたい」とお礼のことばを述べました。



〇〇さん くまんかいどー、

西原町チャリティーゲートボール実行委員会主催、第1回町チャリティーゲートボール大会が12月26日西原東中学校グラウンドで行われました。

これは、愛好者相互の融和と親睦を図り、さらに健康の維持増進を図ることが目的。21チームが参加し、ゲートボールを楽しみました。

なお、結果は次の通り。
▷優勝・兼久Aチーム▷準優勝・幸地チーム▷第3位・兼久Bチーム、徳佐田・小波津団地混成チーム。



前田産業がケーキ贈る

「楽しいクリスマスを過ごしてね」と、前田産業合資会社（代表者前田光則）が平成4年12月24日午後、町内の6保育所に対しデコレーションケーキ20コを贈りました。

ケーキが贈られたのは西原保育所をはじめとする町保育連絡協議会に加入する保育園。前田さんは「はばたき共同作業所出身のルイスくんが我が社で頑張っているため、福祉施設へのプレゼントを考えた」と話していました。

ありがとうございました。



老人と婦人が輪投げで交流

町婦人連合会（下地郁子会長）主催、老人クラブと婦人会のそれぞれの会員らが平成4年12月23日午前、町社会福祉センターで輪投げ交流会を行いました。

人生の先輩である老人クラブの会員と共に、健康づくりと親睦が目的。お年寄りのあざやかな手さばきに会場から「さすがだね」との声も。

約120人の参加者が、心地よい汗を流しました。



待望の遊具が完成

西原小学校（島袋宗正校長）では創立110周年を記念し、遊具の設置をすすめていたがこのほど完成。12月5日午前、同校グラウンドで安全祈願祭及びテープカットが行われました。

完成した遊具施設は、ご父母や地域の方々から集められた寄付金、町人材育成会からの助成金等で賄われ、他に視聴覚機器やグランドピアノなどが購入されました。設置場所はグラウンド南側（幼稚園舎隣）。



西高吹奏楽部に助成金交付

町人材育成会（平安恒政会長）は、1月11日午前、町長室で西原高等学校（親泊安徳校長）吹奏楽部に対し、派遣費の助成金200万円を手渡しました。

これは第20回マーチングバンド・パトントワリング全国大会（1月14日～1月18日・東京都）への派遣で、対象者は、町内在住の吹奏楽部員ら50人。あいさつの中で平安会長は「県内でもトップレベルの西原高等学校吹奏楽部は町民の誇りです。今後伝統を築いて下さい」と励ましました。

「柔軟性のある人間を目指したい」

679人が大人の仲間入り



成人式には琉球大学留学生も参加した

平成五年西原町成人式(町・町教育委員会主催)が一月十五日午後二時から、町民体育館で行われました。会場は祝福と激励のことが飛びかき、華やかな雰囲気になりました。

今年の新成人は男三百八十人、女二百九十九人の合計六百七十九人。女性はほとんど華やかな着物姿、男性はスーツや紋付きはかま、中には民族衣装に身をつむ外国人の姿もありました。

式典では、まずひまわり祭太鼓のアトラクションが行われ、続いて町少年少女合唱団の音頭に合せて、出席者全員が町歌を斉唱。その後、稲福恭助教育長が開式のことば、

呉屋清社会教育課長が成人者を紹介した後、平安恒政町長が式辞、城間光雄議会議長と與那嶺浩教育委員長が祝辞を述べました。

あいさつの中で平安町長は「皆さんの若いエネルギーと情熱を、未来に羽ばたく本町発展の原動力として、まちづくりへの積極的な参画を期待します」と激励しました。

これに対し、新成人を代表して稲福憲児さんが「自分を見失うことなく対応できる柔軟性のある人間を目指したい」、新城公子さんは「自分を信じてマイペースで成長したい」とそれぞれ抱負とお礼のことばを述べました。

シリーズ

がんばってます(19)

父母会の協力に感謝

「声が小さい」「ボールは前で取るんだよ」「オーイ、突っ込みが足りないよ」など、げきをとばしながら野球の指導するのは字兼久百番地、大城幸哉さん(自営業、三十五才)。

今回は、西原小学校運動場で練習する少年野球チーム・西原バツファローズの監督を紹介しします。

大城さんが少年野球を指導して六年。毎日午後四時半ごろから六時まで上原厚コーチ(十八才)と一緒にボランティアで頑張っています。現在の部員は三十六人(小学一年〜六年生)。練習中は基本的な生活習慣(あいさつをすることや時間を守ることなど)は

もちろん、投・攻・打の基礎を中心に指導。

監督自ら中・高校時代、野球部に入部していた関係で、後輩の指導(育成)には抵抗

がなかったという大城さんは「子どもたちが集中できる時間

は限られているので厳しくせず伸び伸びと楽しくやっています」と話していました。

指導の甲斐あって同チームは、これまでに町内大会三回、三町村(中城・北中城・西原)

は、謙虚な態度の中にも静かな闘志が光っていました。



上原コーチのノックで守備練習(円内が大城幸哉監督)



柔軟な体にはびっくりしました

肩こりや便秘何のその!

おいでよ ヨガサークル

ちよつと

拝

見

コーナー

ヨガは体の健康を考え、すべてのバランスを取ることが大切。呼吸法を基本とし、体のゆがみを治す修正法、便秘や体毒を外に出す浄化体操、心を安定させる冥想行法などがあります。

☆ ☆

今回は町中央公民館でサークル活動をしている『ヨガサークル』を訪ねてみました。町中央公民館でヨガ講座を受け、修了した人たちが昭和五十六年四月にサークルを結成以来、継続して約十一年。毎週火曜日午後七時から八時半

までの一時間半(始めの三十分は講義)活動しています。石川博昭先生(具志川市在)が理論と実践を並行して個人指導しています。会費は一月三千円。会員は三十代から七十代までの男女約二十人。会員歴十年以上の与那嶺悦子さん(字津花波百四十七番地の一)は「ヨガを続けることによって自分の体調を整えることはもちろん、家族の健康チェックもできるようにな

り、家族の和が図れます」と話していました。肩こりや便秘、膝の痛みなど体操をすれば何のその。体のバランスを重視するので、体操を継続することで内臓の病気も良くなるとか。また、体型が変わらないので十年前の服も着れるとか……。

☆ ☆

サークルに入会したい方は直接会場におこし下さい。

町中央公民館 ☎九四五三六五七

有意義だった健康まつり

エプロン通信員 喜名京子

第四回西原町健康まつりに初めて参加しました。

当日は、いろいろなコーナーが設置されており、私は「成人コーナー」においての健康状態をチェックしてもらいました。

身長や体重、血圧測定に加え、血液の検査、血液型判

定までしていただきました。

係の方が「体重が標準よりオーバーしているので、運動して健康管理しましょう。運動不足は、脚や腰の筋肉の衰えとスタミナ不足となって表れるので、一日一回のウォーキングをしてみても」と親切にアドバイスしていました。

また、各コーナーには、健康に関する資料が展示してありました。大へんに参考になりました。

係の皆様には、心からの感謝の念でいっぱいでした。

おかげ様でリフレッシュな気分になりました。

健康まつりがこんなに楽し



成人コーナーのもよう

い催しであるとわかったので、今年も家族やお友だちと一緒に、楽しみにしています。

平成5年度町県民税申告の受付を行います

お知らせ
でーびる

西原町役場 税務課 町県民税係
電話 945-4729 (内線142)

年 月 日	時 間	場 所	行 政 区 名
平成5年2月16日(火)	午前 9:30~12:00	幸地ハイツ自治会事務所	幸 地 ハ イ ツ
	午後 1:30~ 4:30	幸 地 公 民 館	幸 地
平成5年2月17日(水)	午前 9:30~10:30	徳佐田 公 民 館	徳 佐 田
	午前11:00~12:00	森 川 公 民 館	森 川 ・ 千 原
	午後 1:30~ 3:30	上 原 公 民 館	上 原
平成5年2月18日(木)	午前 9:30~12:00	棚 原 公 民 館	棚 原
	午後 1:30~ 4:30	翁 長 公 民 館	翁 長 ・ 坂 田
平成5年2月19日(金)	午前 9:00~12:00	町役場二階大会議室	津 花 波 ・ 西原台団地 ・ 小 橋 川 内 間 ・ 県営内間団地
	午後 1:30~ 4:30	町役場二階大会議室	掛保久 ・ 嘉手苺 ・ 小那覇 ・ 県営西原団地
平成5年2月22日(月)	午後 1:30~ 4:30	兼 久 公 民 館	兼 久
平成5年2月23日(火)	午前 9:30~12:00	平 園 公 民 館	平 園
	午後 1:30~ 4:30	与那城 公 民 館	与那城 ・ 西原ハイツ
平成5年2月24日(水)	午前 9:30~12:00	美 咲 公 民 館	美 咲
	午後 1:30~ 4:30	我 謝 公 民 館	我 謝
平成5年2月25日(木)	午前 9:30~12:00	安 室 公 民 館	安 室 ・ 桃 原
	午後 1:30~ 3:30	池 田 公 民 館	池 田
平成5年2月26日(金)	午前 9:30~12:00	小波津団地自治会事務所	小 波 津 団 地
	午後 1:30~ 4:30	小波津集落センター	小 波 津 ・ 呉 屋



申告・募集

注 意 事 項

- ① 申告受付期間は、2月16日(火)から3月15日(月)までですが、3月15日直前の申告の場合は、大変混雑し長時間お待ちいただくようなことになりかねませんので、できるだけ行政区ごとに予定されている日程の通り申告お願い致します。

なお、2月16日から26日までに申告できなかった方については、3月1日から3月15日までに町役場税務課窓口で申告をなさして下さい。(但し、昼食時間、第2・第4土曜日、日曜日を除く。)

- ② 申告は、コンピューターで印字された【平成5年度町県民税申告書】で受付いたしますので、必ず持参して下さい。

◎印鑑も持参して下さい。

- ③ 申告書に記入する場合、必ず **えんぴつ** で記入をして下さい。

④ 給与支払証明書

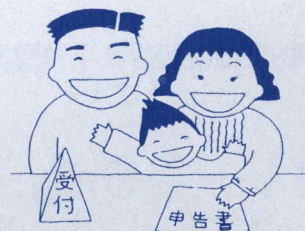
◎日雇及び給与の源泉徴収票が発行されていない事業所に勤務する方は必ず申告書の裏面に会社代表者の証明をもらって下さい。

町県民税の申告不要の方

- ① 税務署で所得税の確定申告をなさる方
② 平成4年中に給与所得だけの方で勤務先から平成5年度給与支払報告書(源泉徴収票)が提出されている方

※ 西原町に納付する町県民税の口座振替受付について

口座振替希望する方は金融機関の預金通帳及び印鑑(通帳使用印)を持参して下さい。



わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう(町民憲章)

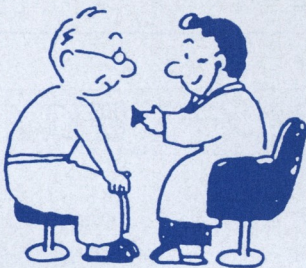
国民健康保険税の納め 忘れはありませんか

平成4年度の国民健康保険税をまだ納めてない方は、早めに納めて下さい。

ご存知のとおり、国民健康保険税は、国民健康保険を支える大変重要な財源であります。

私たちが安心して病院で診療を受けられるのもこういう保険制度があるからです。

また、国民健康保険税を滞納する人がいると国民健康保険制度の運営に支障をきたしますので、ぜひ納期限内に納めてくださるようお願いいたします。



※詳しくは、町国民健康保険課へ

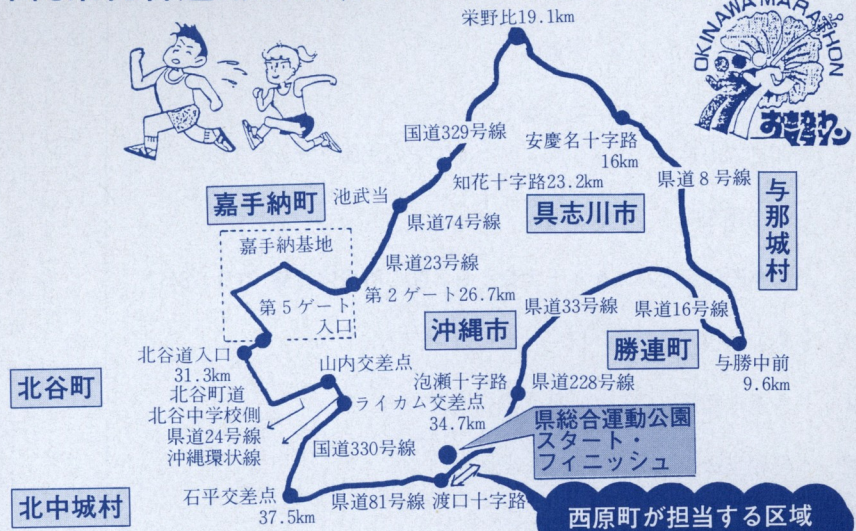
☎945-4729

「中部は一つ」を合言葉に みんなで成功させよう！

'93おきなわマラソン

'93年3月7日(日) 午前8時スタート

沖縄県総合運動公園(スタート・フィニッシュ)



主催：中部広域市町村圏事務組合
沖縄陸上競技協会
沖縄県公園・スポーツ振興協会
琉球新報社

おきなわマラソン大会実行委員会事務局
〒904 沖縄市諸見里2-1-1
沖縄市営陸上競技場2階
☎098-930-0088

※当日は、西原町が担当する区域の応援とご協力をお願いします。

平成5年度 沖縄県立浦添職業訓練校 訓練生募集 (授業料無料)

科 名	定 員		訓 練 期 間	応 募 資 格
	専修	転換		
溶 接	30	20	1 年	転換課程 一般離職者及び駐 留軍関係離職者で、 職業を転換しよう とする者。
自動車整備	10	20	〃	
洋 裁		25	〃	
電気機器	10	20	〃	専修課程 中学校卒業者(卒 業見込み者含む)、 又は同等の学力を 有する者。
O A 事務		30	6ヶ月	
左官タイル施工	20	5	転換6ヶ月 専修 1年	
建設機械整備		20	1 年	
調 理		10	〃	
観光ビジネス		10	〃	

専修課程

平成5年3月26日〆切

県立浦添職業訓練校まで

※詳しくは沖縄県立浦添職業訓練校まで

電話 878-5627、879-2560

転換課程

平成5年3月5日〆切

最寄りの公共職業安定所まで

寄付・香典返し (ありがとうございました)

▽字津花波三十六番地、与那嶺喜一さんが、故母カメさんの香典返しとして町社協へ十万円、町老ク連へ五万円。▽リサイクル公友会(岩村信男会長)が、リサイクル運動収益金として町社協へ六万円。▽字翁長九百二十番地の三八、喜屋武光信さんが、故母ウシさんの香典返しとして町社協へ二十万円。▽字与那城六十七番地、石川かよさんが、故夫盛栄さんの香典返しとして町社協へ十万円。▽字徳佐田十一番地、古堅宗徳さんが、叙勲受章記念として町人材育

成会へ五万円。▽大阪市在住の丸宮熔接工業所(宮城善勝社長)が、社会福祉のために役立てて下さいと町へ十万円。▽町チャリティーゲートボール実行委員会(安谷屋昌夫会長)が、第一回大会の収益金として町社協へ十萬五千円。▽字我謝二百四十一番地、東洋建設社員一同より、はばたき共同作業所の運営費にして下さいと、町社協へ五万円。▽字小橋川二百六十三番地の八、西原シオン教会(新垣優子牧師)が、クリスマス献金の一部五千円を町社協へ。

2月(FAB.) 行事・祭事予定

- 3日(休) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター(10日、17日、24日)
- 4日(休) ○DPT 13:00 町中央公民館
- 5日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里(19日)
○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
- 6日(土) ○西原保育所発表会
○西原町学推協実地研究発表会 9:30 西原東小学校
- 10日(休) ○挑戦大会 15:00 児童館
- 12日(金) ○母親学級 13:30 社会福祉センター
○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館(26日)
- 13日(土) ○町役場閉庁
- 14日(日) ○海邦国体記念バスケット大会 9:00 町民体育館(21日、28日)
- 17日(休) ○精神保健相談 10:00 社会福祉センター
- 18日(休) ○1歳半健診 13:30 町中央公民館
- 19日(金) ○母親学級 13:30 町中央公民館
- 20日(土) ○映写会 14:00 児童館
○麻疹 13:00 町中央公民館
- 26日(金) ○母親学級 13:30 社会福祉センター
- 27日(土) ○町役場閉庁

3月(MAR.)

- 3日(休) ○ひなまつり会 15:00 児童館
○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 5日(金) ○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里

※都合により日程変更することがあります。



宇津花波 36 番地
與那嶺武丈さん

こんにちは
びんごん
⑮

雨の日以外は毎日畑仕事に余念がない武丈さんは、今年満百才。朝七時に朝食を済ませ、八時ごろから午後一時半ごろまで近くの畑へ。昼食後は少し体を休め、午後五時半ごろまで畑仕事。さとうきびとやさい(キャベツ、ホウレンソウ、人参、大根等)づくりに精を出す武丈さんは顔色もよく健康そのもの。やさいを中心に三食をきちんととり間食をしない。太陽の昇る高さで時間をみわける武丈さんは「若いころから体を動かすことですよ」と健康の秘訣を話していました。

長寿の秘訣は体を動かすこと

「アルゼンチン便り」

平成4年11月29日沖縄連主催、沖縄タイムス杯(54歳以下)ゲートボール大会で在亜西原町人会チームが見事優勝。1週間後の12月6日、日系団体代表会議主催の元総理竹下杯(65歳以上)では7位入賞、大使杯(64歳以下)大会では見事優勝し、始終立派な試合ぶりを見せてくれました。

獲得した両杯とも初めての持ち回りだけに町ゲートボール部員(30名)はもちろん、会員一同大変な喜びようでどこでも在亜町人会の団結を示してくれました。部員らは技術面をもっと研究して両杯の永久維持を目指し練習に励んでいます。

おめでとうございます。



(記事及び写真提供者) 在亜西原町人会
吳屋盛尚 監
米数良喜

おわび・訂正

広報にしはら第二百四十五号(平成四年七月一日号)八面の中で、「西原バツファローズ」は「坂田ハイッチーム」の誤りでしたのでおわびし訂正します。

第39回「わが家の家計簿・生活設計」体験談を募集中!

※詳しくは、沖縄県生活福祉部県民生活課へ

☎ 八六六一二一八七